

2025

2

February
No. 384

広報

みしま

Mishima Town Public Relations



鳥追い【桧原地区】 三島小学校の児童が参加！

1月14日、桧原地区で小正月の伝統行事である鳥追いが行われました。三島小学校の児童が、鳥追い唄^{うた}を謡いながら桧原地区内を練り歩き、虫獣を追い払い、今年の豊作を願いました。

「今日はどこの鳥追いだ 長者様の鳥追いだ ホヤー ホヤー」と声が響き、集落の方々が温かく見守りました。

福島県
大沼郡
三島町



三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

三島町商工会女性部諏訪静枝部長が表彰 食を通して地域に元気を！

12月20日に三島町商工会女性部の諏訪静枝部長と商工会職員の佐藤文代さんが全国商工会連合会より表彰されたことを報告に訪れました。

商工会では、平成27年から月2回夕方の時間帯に地元の野菜や特産品を使ったお惣菜を販売する「夕市」を開催してきました。町民の方からは「夕市の開催・出店が定着して楽しみのになっている」と大変喜ばれています。



▲左から矢澤町長、商工会女性部の諏訪静枝部長、商工会職員の佐藤文代さん

三島町消防団出初式

町内無火災をめざして！

1月5日に三島町消防団による出初式が行われ、火災予防を呼びかけながら宮下地区内をパレードしました。パレード終了後は、消防団、会津坂下消防署、会津坂下警察署など関係者の方々と三島神社に参拝し、今年1年の無火災を祈願しました。



▲宮下地区内パレードの様子

町民記者通信



【特集】各地区で行われた小正月行事

※特集以外の記事含む

大石田地区で大しめ縄づくり（12月31日）

大石田区長 渡部 繁信さん（大石田）

大石田地区では、地区北側の高台に位置する鎮守様・高尾神社に奉納するため、毎年大晦日に、恒例の大しめ縄づくりを行います。今年も地区の若手15人ほどが集い、午後1時から3時間かけての奮闘で、長さ6メートル、直径20センチの大しめ縄を完成させました。

寒く、あいにくの雨でしたが、しめ縄を作る小屋の中は、熱気ムンムン。いつもの話題は、「さて、この大しめ縄づくりはいつまで続くか」「…あんちゃがいなくなったら終わりだな」「跡継ぎは…だわい」などなど、冗談の山で大盛り上がりとなります。傍らには、お神酒とスルメが付きもの。

しめ縄づくりは、藁をしごく（葉の部分を取り除く）ことから始まり、それを大槌でたたき柔らかくしたものを使います。難しいのは、普通の縄とは逆の左ない。それが3本で構成され、徐々に太くし、全体のバランスを保つことです。年に一度のこととあって、途中途中迷いながらの作業となり、そこがまた、笑いの突っ込みどころとなります。

とはいえ神聖なしめ縄。最後に、地区の安全、地区民の健康を願い、「しで」と「たれ」を入れて完成です。そして今年も、無事奉納することができました。

令和7年。すべての人に「幸」あれ。



国指定重要無形民俗文化財 三島のサイノカミ

【大登地区】

1月15日を中心に国指定重要無形民俗文化財に指定されている、三島の代表的な小正月行事「サイノカミ」が、町内21箇所で行われました。お焚き上げには、町民の方がサイノカミを囲むように集まり、家内安全・五穀豊穡などを願いました。

【宮下地区】



※ サイノカミの表記については各地区で異なります。



鳥追い（1月14日）

阿部 和彦さん（松原）

町で松原地区のみが実施する「鳥追い」が行われました。午後7時、地区の子供たちと他の地区から応援に来てくれた子どもたち約15名が集会所前に集まり出発しました。「今日はこの鳥追いだあ～長者様の鳥追いだ。ホーホーホー！」現在行われている松原地区の鳥追いは、集落練り歩き型で掛け合いや悪口の言い合いがありません。冬休みに三島小学校児童の皆さんのご協力で作られた旗を振り、害獣を追い払い、今年の豊作を願いました。終了後、は参加してくれた子どもたち全員にお礼のお菓子や保護者からの参加記念品が配られました。

地域全体の子どもの数が減り、松原地区だけでなく他地区からの応援も借りながら、小正月の伝統行事を守り続けています。



歳神様を天空にお送りし「無病息災」「五穀豊穰」を祈る（1月12・15日）

本名 与四郎さん（西方）

1月12日の午前9時より巣郷地区において「サイノ神」の準備が行われました。今年は、昨年より積雪量が多く、かんじきを履きながら一步一步踏み固めながら近くの山へ向かいました。ご神木を切る際には、全員で二礼二拍手一礼を行い、御神酒を捧げて厳かに切り出しました。その後、小松順太郎さんや小松正信さんの指示を受けながら稲藁や青竹などをご神木に手際よく巻き付けながら、サイノ神の準備をすることができました。今回は、県立博物館に勤務している山口さんも奥会津のサイノ神の歴史や文化について取材に来訪し、地区民と一緒に手伝う姿が見られました。最近では、コンバインで稲刈りをするため稲藁を確保することが困難になっています。巣郷の稲作農家においては、事前に稲藁を残すような配慮がなされており、他地区へ波及して欲しいと思いました。

1月15日の夕方、6時近くになると、重たい雪の降る中、各家々から老いも若きも餅焼き竿に昨年の年の瀬についた餅を針金などで固定して集まる姿が見られました。点火の前に隣組長の五ノ井隆一さんから挨拶があり、その後、今年の恵の方角は西南西のため、その方位から点火し、今年1年の無病息災と五穀豊穰を祈願しました。

「燃え上がる 炎を囲み 幸願う」

「お焚き上げ 歳神様を 送るため 御神酒の力 銀河に届け」



燃え上がる炎に歓声！幸せ祈る（1月15日）

小島 純さん（宮下）

宮下地区のサイノカミは1月15日、三島神社境内で行われました。今年は1月11日、午前9時に三島神社に地区住民と小学生児童が集合。安全祈願の後、それぞれ燃え草集めと馬場踏み。御神木と竹の切り出しに分かれ作業。その後、全員が協力して御神木を立てました。15日当日、午後6時30分にサイノカミに点火。火は勢いよく燃え上がりました。



会場内では御神酒や、みかん等がふるまわれました。参加した住民は棒の先につけた餅やスルメ等を焼いたり燃え上がる炎を見上げたりしながら、今年1年の無病息災、地区の平穏無事を祈っていました。

※ サイノカミの表記については各地区で異なります。



令和7年三島神社初詣（1月1日）

小島 純さん（宮下）

午前0時、大太鼓の音が、積雪の地区内に響く中、大勢の地区住民が初詣に訪れました。参詣に訪れた地区住民の方々は、今年1年の家内安全・無病息災、各々の願い事などを神前に熱心に祈っていました。



令和7年宮下地区新年会行われる（1月1日）

小島 純さん（宮下）

午前10時から令和7年宮下地区新年会が宮下活性化センターで開催されました。

志田義美区長の年頭の挨拶の後、来賓祝辞をいただき、齋藤公朗氏の乾杯の音頭で祝宴に入りました。栗城佐氏の「めでた（祝い唄）」などが披露され参加した住民は和やかに歓談、今年1年の地区の発展を願いました。



安寧と幸せを願った新年会（1月1日）

本名 与四郎さん（西方）

1月1日の午前10時より西方ふれあいセンターにおいて「西方地区新年会」が行われました。地区役員の小柴茂さんによる開式の言葉の後、国歌斉唱を参加された全員で行いました。その後、区長の五ノ井隆一さんより昨年の酷暑、台風など日本の各地域で大きな被害をもたらしたものの、西方地区では被害なく過ごせたことや、さまざまな地区要望を町、県などに対して継続的に実現できるように推進していく話がありました。また、地区としての課題であるイノシシや熊など獣害駆除の解決方法を模索しながら地区の皆様と共有し邁進する挨拶もありました。

年頭所感として青木喜章議員による県立宮下病院の新築移転構想や過疎対策を含めた三島町全体の今後を見据えたビジョンと抱負についての挨拶がありました。

副町長である小堀庄太郎さんによる声高らかな乾杯で祝宴に入りました。今年の新年会は、喪中の世帯などもあり、昨年より少ない参加者となりましたが、和やかにそして、賑やかな新年会となりました。

最後に、三島町民生児童委員会委員長である小松豊さんが今年の干支の「巳」に関連させながらのお話を交えながら万歳三唱を行いました。1年の幸せと安寧を願った新年会は午前中で閉会となりました。

「新年を 笑顔で元気 顔合わせ」

「新年会 世代交代 しながらも 一杯飲めば 口なめらかに」



大石田地区 11 回新春麻雀大会（1月12日）

中 兵一郎さん（大石田）

1月12日第11回新春麻雀大会が大石田集会所で開催され、総勢20人が参加し、5卓で行われました。

まず、昨年度の優勝者の五十嵐敏さんから優勝カップの返還があり、3回戦が行われました。今年も1時間3回の得点で、最高は126,700点プラス26,700点を獲得しました。2位に10,400点差をつけて、五十嵐敏さんが2連覇しました。また、最高齢の五十嵐敏さんの気力・若さに圧迫された大会でした。最低は50,200点で76,500点の差で、点数差の少ない大会でした。全員和気あいあいと親チョンボ、1発ツモなど、令和7年の麻雀大会を楽しく過ごしました。

終了後、来年12回また続けてやろうと約束し、幹事を決めて解散となりました。



地域おこし協力隊活動誌



「去る者は追わず サル者は追い払うべし」

鈴木 亮

皆さん、こんにちは。鳥獣対策専門員の鈴木です。

年が明けてから雪の日が続いています。朝起きる度に雪が積もっているのを見て、一日も早い春の訪れを祈らずにはいられません。

さて、そんな雪の中でも一部の獣たちは元気に動き回っているようです。今回はその中から三島町に住むサル（ニホンザル）について、分かったことをお話しします。

昨年町内のあちこちに出没するようになったサルですが、目撃者からの聞き取りや自動撮影カメラでの情報収集の結果、三島町に出没しているサルは約10頭の群れ（子ザルが2頭）と、群れから離れた2、3頭のオスである見込みが高くなってきました。

これらのサルは、歩きやすければ人が作ったものでも利用するようで、舗装道路やハシゴ、石段などを歩く姿を確認しています。橋は完全に移動経路として定着したらしく、橋を渡って只見川の対岸同士を行き来しているようです。

最近は食べるものが無くなったのか、雪景色の中で目立つ柿の実を狙い、町中まで出没しています。雪の中から長ネギや大根を掘り起こされたという方もいるので、これらの野菜が畑にある方は特に注意してください。

これらの情報から考えられるのは、町内に出没しているサルは少しずつ、しかし確実に人里に慣れてきているということです。幸い人間に対する恐れは残っているようなので、人里でサルを見つけた時にはぜひ、花火などを使って追い払いをしてください。何度か繰り返すうちにサルはその人の顔を覚え、見かけただけで逃げ出すようになります。（三島のサル界隈では、私は既に有名人です（笑））



▲日光浴するサルの群れ（一部）。子ザルを含む5頭が写っている。



▲雪に残されたサルの足跡（赤丸部分）サルの足跡は人間の手の形に似ており、後ろ足は親指が開いてL字型になっている。（写真は後ろ足）



▲三島大橋の点検用のハシゴを下りた跡（赤丸部分）。この後対岸へ渡り、ハシゴを登って逃げて行った。

※ サイノカミの表記については各地区で異なります。



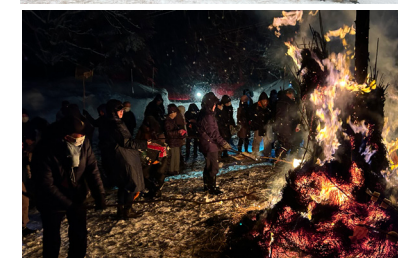
町民記者通信

桧原地区の歳の神（1月15日）

阿部 和彦さん（桧原）

今年も桧原地区では春日神社前の広場で開催されました。午後1時に雪が降る中、神社前の林より初老を迎える方から提供された杉の木（御神木）を切り出し、皆で藁を巻き付け、前日に準備したオンベを取りつけ約10mの「歳の神」が完成しました。

午後7時、還暦・初老・二十五歳の歳祝いや厄年の方々が点火を行い、ゆっくりと立ち昇った火がオンベに着いた瞬間は大きな歓声が上がりました。その後、みかんや御護符・五円（御縁）が時かれ、御神酒のふるまいがあり今年1年の無病息災と五穀豊穡、村中安全を祈願しました。今回は県中地方から見学ツアー33名が訪れ、御神木立ての場面を見たり、みかん拾いやスルメ焼きにも参加され、厄払いの御神酒と御護符のふるまいに喜んで帰られました。この「歳の神」は地区の団結を必要とする大切な伝統行事です。



滝谷地区のサイノカミ（1月15日）

目黒 民一さん（滝谷）

小正月行事のひとつである滝谷地区の「サイノカミ」は、1月12日の早朝より雪が降る中、地区住民総出で製作に取り掛かりました。お昼前には今年の恵方である「西南西」を向いた見事なサイノカミが完成しました。

15日の夜、地区の旧家である若林敏彦氏宅で厳かに採火された松明が「バンバ（点火場所）」まで運ばれ、点火されると御神火は勢いよく燃え上がりました。やがて歳祝いの人がサイノカミの周りを走り回って厄を祓う「ドウズキ（胴上げ）」が行われました。

深々と降り続く雪の中で、赤々と燃え上がる御神火を見つめながら、今年1年の無病息災と世の中の平穏無事の願いを込めていました。



滝原・早戸地区のサイの神（1月15日）

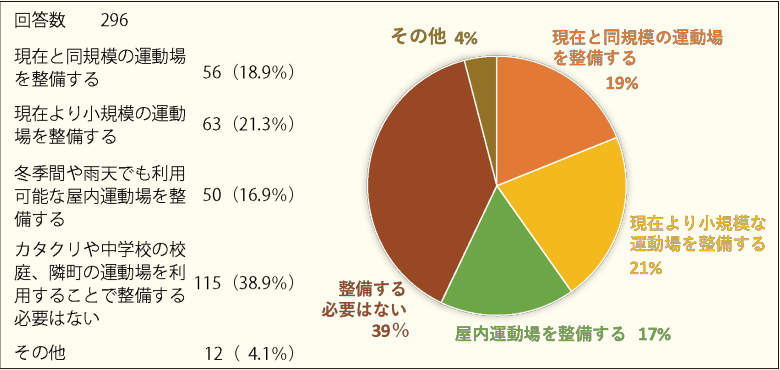
佐久間 絹江さん（滝原）

稲作地のない滝原地区では、昔からサイの神には稲ワラではなく茅を使用してきました。昨年10月に地区有志の方々によって会場に搬入され、たっぷりの降雪があった年明けの12日月曜日に、御神木を切り出し設置されました。

15日当日、水分の多い雪が降る中、滝原早戸地区の方々が参集、滝原区長の挨拶、声かけで点火正月飾りやお札等も一緒にお焚き上げとなりました。御神酒や焼きスルメをいただき、無病息災・五穀豊穡を願い餅を焼いて持ち帰りました。恒例のみかんまきでは、笑顔いっぱい福を拾い集めサイの神の火に当たりながら談笑し、親睦を深めていました。また、短時間で多くの降雪があった新年に消防団員の方々による地区内の除雪ボランティアも行われ、地区の方々に大変喜ばれていました。

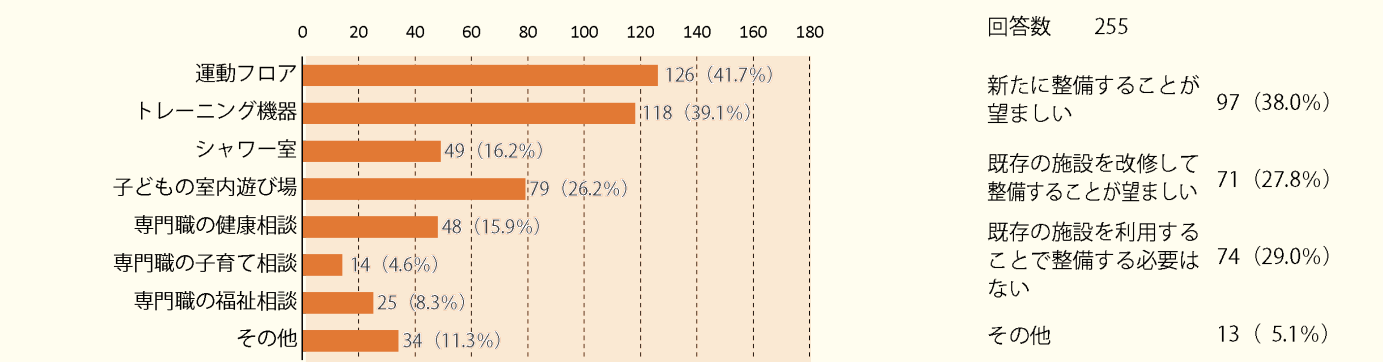


（3）運動場の整備について



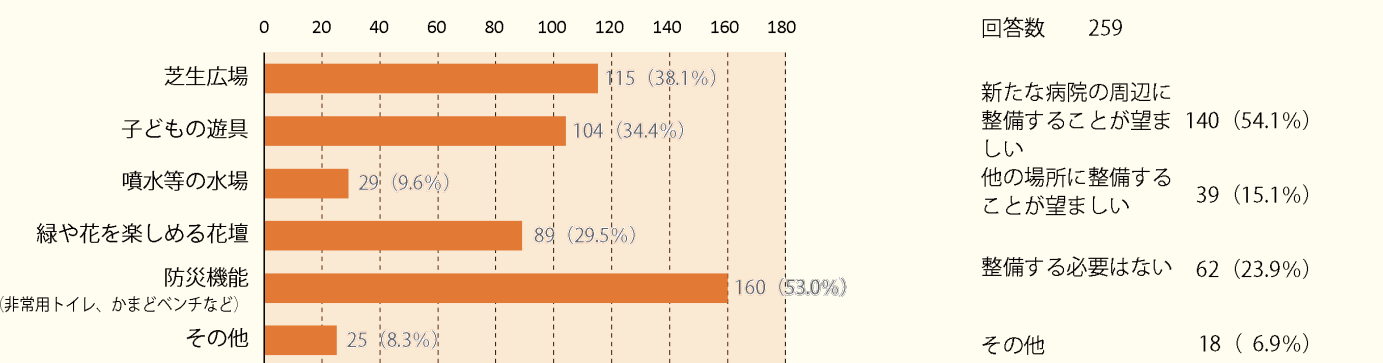
2 健康増進施設についてお聞きします。

（1）健康増進施設にどのような機能があると良いですか？（複数回答可）（2）健康増進施設の整備について



3 公園についてお聞きします。

（1）公園にどのような機能があると良いですか？（複数回答可）（2）公園整備について

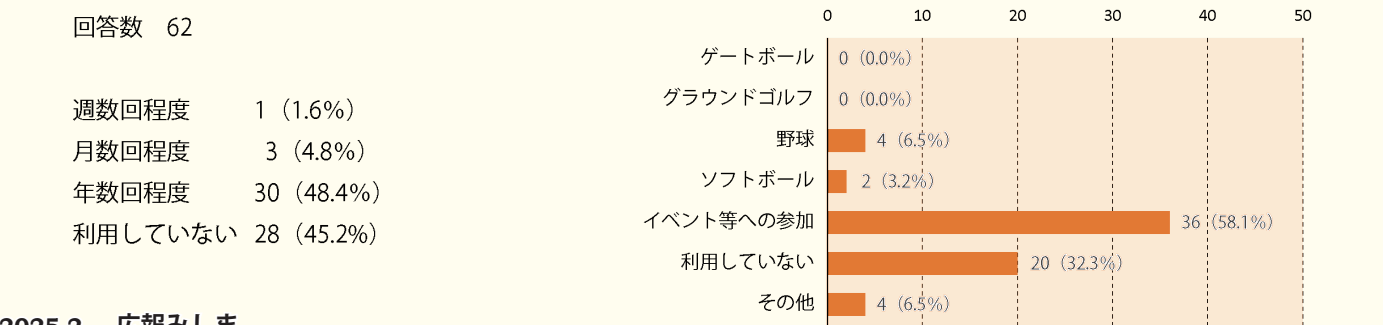


【50 歳代以下の回答の集計】

回答数合計 62
20 歳未満 1 20 歳代 5 30 歳代 14 40 歳代 14 50 歳代 28

1 町民運動場についてお聞きします。

（1）町民運動場の利用頻度について（2）町民運動場の利用目的について（複数回答可）



健康増進施設等の整備に関するアンケートについてお知らせします

町では、県立病院の建設に伴い、新たな病院の周辺を健康・福祉・医療の総合エリアとして整備することを検討しています。

以下により、運動場等の整備に対する町民の皆様の意向やニーズ等を計画に反映するため調査を実施しました。アンケート結果については、次のとおりです。

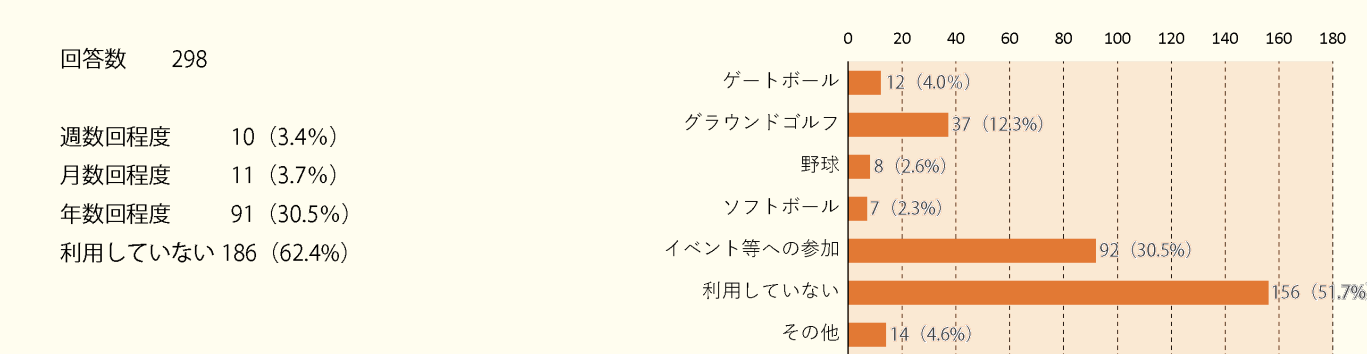
【実施時期】 令和 5 年 12 月 1 日(金)～ 13 日(水)
【配 布】 町内の全世帯（658 世帯）へ配布
世帯の代表者（町民運動場の利用回数が最も多い方）へ回答依頼。各地区の区長または役場へ提出
【回 収】 302（回収率 45.9%）

◇回答される代表者様について教えてください。

（1）性別	（2）年代	（3）世帯構成	（4）お住まい
回答数 295	回答数 297	回答数 290	回答数 281
男 183 (62.0%)	20 歳未満 1 (0.3%)	一人暮らし 87 (30.3%)	宮下 47 (16.7%)
女 100 (33.9%)	20 歳代 5 (1.7%)	配偶者と二人暮らし 100 (34.5%)	浅岐 11 (3.9%)
回答しない 12 (4.1%)	30 歳代 14 (4.7%)	配偶者と子と同居 34 (11.7%)	荒屋敷 7 (2.5%)
	40 歳代 14 (4.7%)	親と同居 20 (6.9%)	間方 13 (4.6%)
	50 歳代 28 (9.4%)	親と配偶者と同居 13 (4.5%)	桑原 15 (5.3%)
	60 歳代 65 (21.9%)	親と配偶者と子と同居 11 (3.8%)	大石田 27 (9.6%)
	70 歳代 113 (38.0%)	子と同居 11 (3.8%)	中平 5 (1.8%)
	80 歳以上 57 (19.2%)	親と子と同居 6 (2.1%)	大登 24 (8.5%)
		その他 8 (2.8%)	川井 16 (5.7%)
			名入 5 (1.8%)
			小川 1 (0.4%)
			高清水 8 (2.8%)
			滝谷 18 (6.4%)
			滝原 7 (2.5%)
			早戸 1 (0.4%)

1 町民運動場についてお聞きします。

（1）町民運動場の利用頻度について（2）町民運動場の利用目的について（複数回答可）



「風邪や病気に負けないために」 ～免疫力UP！食事の基本～

vol.99
健康で元気な毎日！
町民課保健福祉係 ☎ 48-5565

免疫力が低下するとどうなるの？

免疫力とは自分以外のもの（ウイルスなど）から身体を守る力のことです。

- ・疲れやすい ・肌の炎症 ・風邪が長引く
- ・アレルギー症状の悪化 ・歯周病

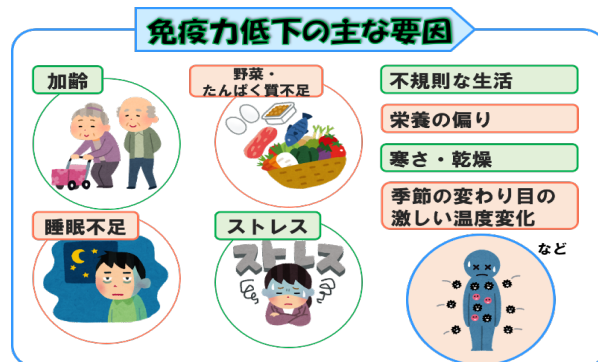
その不調、免疫力が低下しているサインです！

野菜、摂れていますか？

丈夫な身体づくりのために大切なのは毎日の食事です。野菜は1日350gといわれていますが、厚労省の「国民健康・栄養調査」で、国民の野菜摂取量は年々減少しているということがわかりました。野菜（特に色の濃いもの）には、ビタミン類が多く含まれているため感染症の予防になる他、みなさんが摂取した肉や魚のたんぱく質を体に吸収させてくれる働きもあります。

大切な栄養をきちんと摂って免疫力を保ち、寒さの厳しいこの季節も元気に乗り越えましょう！

<1日に必要な量の目安>



図書のご案内

町民センターゆめぽけっと

- 利用時間
月～金 午前9時～午後9時
土・日・祝 午前9時～午後5時
- お休み
年末年始
- 公民館 ☎ (48) 5599

●今月のおすすめ



瞬時に「言語化できる人」が、うまくいく。

荒木 俊哉 著

自分が思っていることをうまく相手に伝えられず、思いどおりにならないことがありませんか？

この本は、コミュニケーションにおいて非常に重要なスキルである「言語化力」を磨くメソッドを伝えている本です。

●図書の紹介



いのちを
まもる図鑑

池上 彰 監修



フリーランス農業
という働き方

小葉松 真里 著

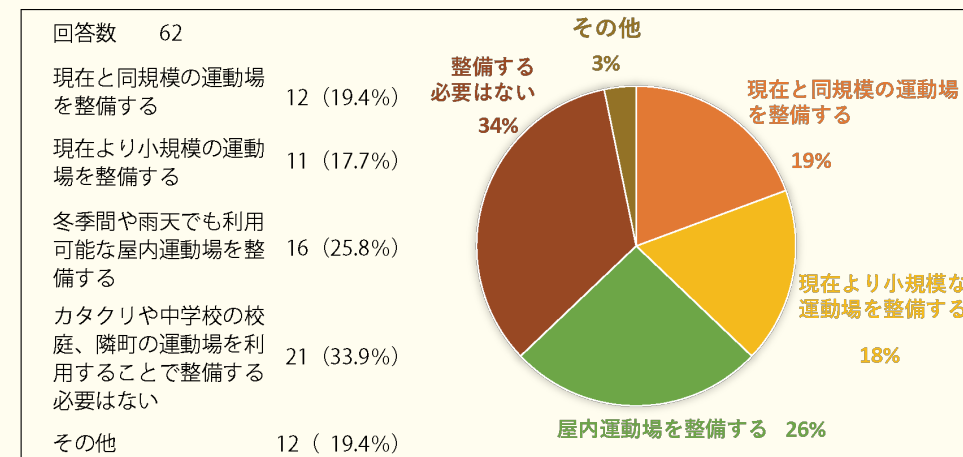


すごい股関節

中野ジェームズ修一 著

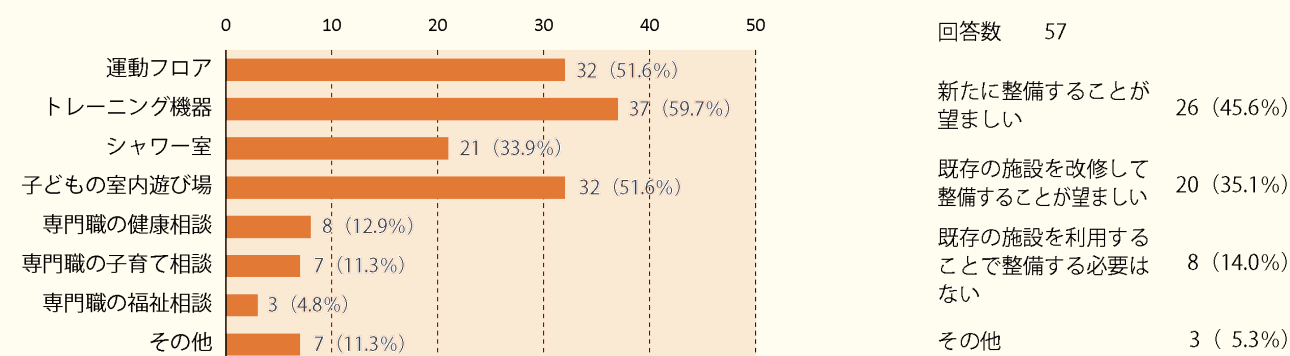
健康増進施設等の整備に関する アンケートについてお知らせします(50代以下)

(3) 運動場の整備について



2 健康増進施設についてお聞きします。

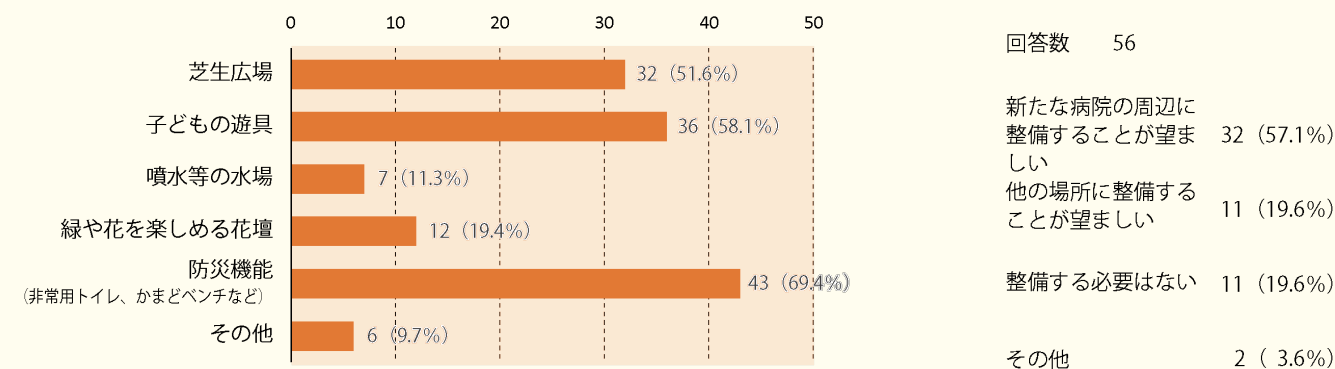
(1) 健康増進施設にどのような機能があると良いですか？(複数回答可) (2) 健康増進施設の整備について



新たに整備することが望ましい	26 (45.6%)
既存の施設を改修して整備することが望ましい	20 (35.1%)
既存の施設を利用することで整備する必要はない	8 (14.0%)
その他	3 (5.3%)

3 公園についてお聞きします。

(1) 公園にどのような機能があると良いですか？(複数回答可) (2) 公園整備について



新たな病院の周辺に整備することが望ましい	32 (57.1%)
他の場所に整備することが望ましい	11 (19.6%)
整備する必要はない	11 (19.6%)
その他	2 (3.6%)

次号では、皆様からいただいたご意見を掲載します。

バスツアーのお客様 - 海外からも来町 -



来館のお客様

現在開催中の“冬のものづくり教室”の様子や“展示販売品”をご覧くださいとともに、“編み組細工”の実演を行っています。

驚くことに、毎回 25 名ほどのご来館がある中で、その半数の方が中国や台湾などからのお客さまです。“春節”（中華圏での旧暦のお正月）の時期を迎え、さらに多くの方の予約が入っています。

今後、海外からのお客様も含めて、おもてなしの方法を模索していきたいと思います。



▲冬のものづくり教室開催中



▲ヒロロの縄ない実演中

【工芸館からのお知らせ】

第 44 回三島町生活工芸品展・第 24 回全国編み組工芸品展出品作品募集中。

令和 7 年 2 月 21 日㊟まで。詳しくは生活工芸館までお問い合わせください。

☎ 三島町生活工芸館 ☎ (48) 5502

工芸館だより 45 〴〵ものづくりの伝承



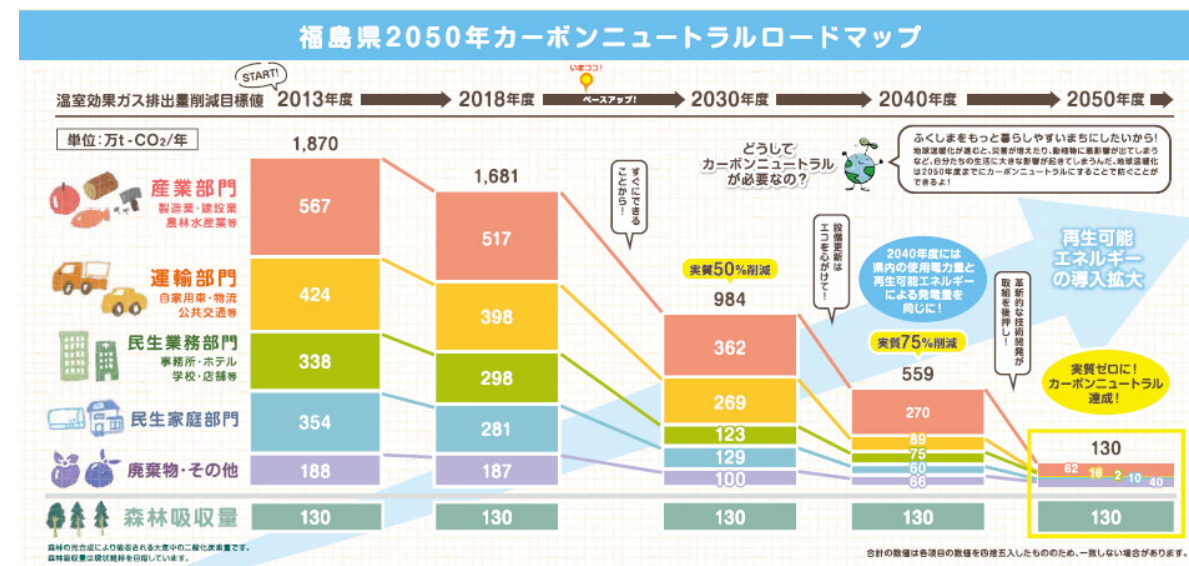
地域循環コラム 第3回

～知っておこう！「福島県 2050 年カーボンニュートラル宣言」～

町では、令和 4 年 5 月に「三島町 2050 ゼロカーボン」を宣言しましたが、福島県では、それより以前の令和 3 年 2 月に「福島県 2050 年カーボンニュートラル」を宣言しています。令和 5 年 5 月には、「福島県 2050 年カーボンニュートラルロードマップ」が決定され、パンフレットが県内全戸に配布されています。

そこで、今回は配布されたパンフレットをもとに福島県カーボンニュートラル宣言を知っていただきたいと思い、改めて本コラムでもご紹介いたします。

◆カーボンニュートラルまでの道すじ



県のロードマップでは、2030 年度までに CO2 排出量を実質 50% の削減、2040 年度時点には県内の使用電力量と再生可能エネルギーによる発電量を同じにして、2050 年度には実質ゼロになることを目指しています。三島町でも太陽光発電や小水力発電、木質バイオマスエネルギーを中心に再生可能エネルギーの導入に向けた取り組みを行っておりますが、県では、その他にも風力発電や地熱発電といった再生可能エネルギーの導入拡大も進めています。また、それらの余剰エネルギーから生成される水素、アンモニア、合成メタンを発電燃料にすることでも二酸化炭素排出抑制に繋がっています。

とはいえ、再生可能エネルギーの拡大のみではなく、各部門でも省エネルギー化が必要不可欠であり、県民の皆様には、「こまめな節電」や「省エネ家電への更新」、「エコドライブの実践」、「ゴミを出さない習慣」など、まずは「すぐにできること」を呼びかけております。県民総出で実践していく必要があるため、本コラムや国立環境研究所さんの寄稿でも度々取り上げているゼロカーボンアクション 30 の実践を引き続きお願いします。また、当パンフレットには、「想像してみよう！ 2050 年までの自分」といった欄がありますので、ぜひ皆さまも 2050 年の未来の自分を想像してみてください。

☎ 地域政策課 ☎ (48) 5533



▲福島県 2050 年カーボンニュートラル宣言については、上 QR コードから確認できます。

▲県から配布されたパンフレット



気候変動対策でヒートショック予防

三島町の皆さん、こんにちは。今回は冬の気候変動の影響と対策についてご紹介したいと思います。今年の1月10日に世界気象機関(WMO)は、2024年の世界平均気温が産業革命前の水準と比べて1.5℃上回ったと発表しました。これは、パリ協定で目標としている1.5度水準を単年で初めて超えたもので、地球温暖化に伴う気候変動の影響が今後ますます強くなっていくと考えられます。

○地球温暖化でも大雪のリスクが

地球温暖化ということで、夏の暑さ対策が注目されがちかと思いますが、冬の影響も予測されています。例えば、気象庁と文部科学省が発表した「日本の気候変動2020」では、地球温暖化の影響で雪の降る量は減る一方、大雪のリスクが増加する可能性があると言っています。

	2℃上昇シナリオ による予測 パリ協定の2℃目標が達成された世界	4℃上昇シナリオ による予測 現時点を超える追加的な緩和策を取らなかった世界
積雪深の年最大値 及び降雪量	約30%減少 (北海道はか一部地域を除く)	約70%減少 (北海道の一部地域を除く)
降雪期間	/	短くなる (始期が遅れ、終期が早まる)
10年に1度の大雪	/	本州山岳部や北海道内陸部で増加する可能性あり

- 北海道内陸部の一部地域を除き、地球温暖化に伴い、降雪・積雪は減少すると予測される(雪ではなく雨になることが増える)。
- 平均的な降雪量が減少したとしても、ごくまれに降る大雪のリスクが低下するとは限らない(ただし、この予測の確信度は低い)。

※21世紀末の将来予測
(出典:文部科学省及び気象庁「日本の気候変動2020」)

降雪・積雪の量が減ることで、雪かきや除雪の手間が減る一方、翌年の雪解け水が少なくなることによる湧水や、スキー場の経営が成り立たなくなるなどの悪影響も考えられるため、どのように備えるかを考える必要があります。

【参考文献】

文部科学省及び気象庁「日本の気候変動2020」
https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/ccj/2020/pdf/cc2020_gaiyo.pdf
資源エネルギー庁「『ZEH』でお得に賢く快適生活」
https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/general/housing/data/zeh_leaflet.pdf
社会福祉法人恩賜財団済生会「冬場に多発! 温度差で起こるヒートショック」
<https://www.saiseikai.or.jp/medical/column/heatshock/>
東京科学大学「高断熱で暖かい家での暮らしによる医療費の低減と健康寿命の延伸効果を定量化」
<https://www.isct.ac.jp/ja/news/k1e5pyayr8jl>



著者 常盤 達彦

国立環境研究所福島地域協働研究拠点
地域環境創生研究室 ☎0247 (61) 6572

町史編さん室だより

第109回

『宮下大火』とその復興(3)

「ご家庭に古い文書や写真などがございましたら、交流センター山びこへご連絡ください。」

☎(52)21665

昭和17年(1942)4月11日に起きた「宮下大火」と呼ばれる大火災に関し、今回は同年7月から8月にかけての動きを、特に日本大学の医学生らによって数日間実施された無料診療について、遺された資料から確認していきます。

宮下村役場日誌を読むと、7月3日に宮下火災罹災援助金を交付、8日に復興委員会、13日には日本大学医学科講師と学生1名が無料診療所開設相談のため来庁しています。15日には宮下復興建築業者大工打合会の開催、17日には復興委員会常任委員会の臨時召集となっています。

8月9日には、出征員慰安・罹災者慰問のため、有名な東京の浪曲師である相模太郎とその一行が国民学校講堂において浪曲を披露、千数百名の入場があり盛会だったとあります。千数百名というのは、宮下村の昭和15年における人口が3332人(合併前3村の総計)ですから、かなりの人数です。21日には、復興常任委員と旧西川村議員が懇談会を開き、国民学校敷地拡張、宮下土木監督所宅地に関して所有者との交渉等が行われ、22日に委員会では日本発送電からの復興資金分配について協



▲無料診療所が設置された宮下国民学校講堂の外観

議、25日には罹災者に対し12万円の復興資金を分配(交付)しています。

前述の7月13日に役場に相談のあった無料診療所開設については、日誌や会津文化協会報告書によれば、日本大学の教授や講師、学生計16名が巡回診療に来村、7月27日から8月3日まで無料診療所を設置し、診療に従事したと書かれています。その経緯と実施内容は、昭和17年度の『医学徒報国隊農村班報告』に詳細に書かれています。

その報告によると、日本大学医学科報国国防医学班が、文部省や厚生省、大政翼賛会主催の無医村診療班として、本年はどの村に赴くかを厚生省や大政翼賛

会に相談した結果、無医村ではないが「宮下大火」によって衛生状態が良くない「所謂ブラック建築内に起居」している者が多い宮下村はどうかと提案されたそうです。日大医学班としては、昭和14年度に宮下村(当時、西川村外二ヶ村組合)に訪問したこともあり、その後どうなったかを知りたいという考えもあって、来村を決めたとのことでした。

彼らは25日、午後11時15分の上野発新潟行列車に乗って出立、翌26日午前10時15分に宮下駅に到着し、役場代表や取材の新聞社に迎えられました。彼らの宿舎となるのは宮昌寺であり、食事は会津文化協会女子青年部と宮下村女子青年団により提供されたそうです。宮下村女子青年団員に対しては、会津高女教諭による栄養食指導があったとも記されています。

翌27日から8月3日まで国民学校講堂に診療所を設置、「ツベルクリン検査、寄生虫卵検査、一般診療、住宅、栄養、労働調査」と学生は炎暑の中を数里の山溪の僻地を訪れ、夜は又急患に夜道三里余りの部落に往診する等多事な日を送る」とあり、昼夜を問わず診療等に従事し、宮下から最も遠い間方にも赴いたことがうかがえます。

診た患者は延べ503名、これは14年度に比べ「激減」とのこと、有医村になったことが要因であるとしています。胃腸疾患患者が多く、また衛生の知識が不足していることによる患者が多いとあります。学童に関しては、本校・分校の8学年、合わせて677名のツベルクリン反応と寄生虫卵の検査を実施しており、前者の陽性者が約1割、後者の保有者が7割近くおり、都会に比して寄生虫(大部分は回虫)の保有率が高いと指摘しています。

住宅調査については、大火で仮小屋住まいが多かった宮下を中心に行っており、全体として「万年床の悪弊、所謂家相観念に捕はれ「さく井」を嫌ひ、流れ水を使用し、上下水の観念なきこと、又照明に無関心」と衛生面の意識の低さに注意を要すとしています。

このこともあってか、7月29日には、日本大学の阿部謙渉、藤巻良知両教授による衛生講話が国民学校において行われています。

(町史編さん室)

※引用文の旧字は常用漢字にし、難読字にはルビを振っています。引用文中の「さく井」は井戸を掘ることをいいます。

愛ばんしょ外来からのお知らせ

三島町ケーブルテレビ 三島通信
で健康教室を放送中です。
2月「糖尿病と歯周病」です。ぜひ
ご覧ください。



☎ 福島県立宮下病院 ☎ (52) 2321

2月分納税のご案内

【納期限 2月28日(金)】

- ▼ 町県民税 (普通徴収) (随 期)
- ▼ 固定資産税 (第4期)
- ▼ 国民健康保険税 (第6期)
- ▼ 介護保険料 (普通徴収) (第6期)
- ▼ 後期高齢者保険料 (普通徴収) (第7期)

忘れずに納付ください。

☎ 町民課 町民係 ☎ (48) 5555

 お悔み申し上げます

長谷川 清 雄 様 (78才・川 井)
五十嵐 菊 雄 様 (90才・大 谷)

 はじめまして赤ちゃん

板 橋 ^{もも}百 ^{はる}春 くん (宮下)
(父 洋平・母 円)

町の人口と世帯 (1月1日現在)

人口	1,327	増減数	-5	出生	0
男	677		0	死亡	5
女	650		-5	転入	1
世帯	673		-1	転出	1

※住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

社会福祉協議会より

サロンないり	浅岐あったかサロン
2月26日(水) 午前10時から 名入集会所	2月13日(木) 午前10時から 浅岐集会所
大石田友遊サロン	ひまわりサロン
3月3日(月) 午前10時から 大石田集会所	2月17日(月) 午前10時から 町民センター
大登サロン	滝谷和楽塾
3月3日(月) 正午から 大登生活改善センター	2月18日(火) 午前10時から 滝谷集会所
桧原はつつクラブ	サロンなごみ
3月4日(火) 午前10時から 桧原集会所	2月19日(水) 午前10時から 西方ふるさとセンター
川井友愛サロン	間方いきいきクラブ
3月5日(水) 午前10時から 川井集会所	2月19日(水) 午前10時から 間方集会所
浅岐あったかサロン	高清水・小山 いきいきサロン
3月6日(木) 午前10時から 浅岐集会所	2月21日(金) 午前10時から 高清水集会所
	ほがらかサロン
	2月25日(火) 午前10時から 森の校舎カタクリ

◆ 心配ごと相談 ◆

2月13日(木) 福祉センター
午前9時30分から11時30分まで

町社会福祉協議会へのご寄附
(ご遺志によるもの)

長谷川 哲 央 様 (川 井)
五十嵐 京 子 様 (大 谷)

☎ 社会福祉協議会 ☎ (52) 3344

会津坂下警察署からのお知らせ

少年にも迫る魔の手！
～闇バイトの危険性～

ニュースなどでも取り上げられているとおり、強盗や詐欺など闇バイトによる犯罪が後を絶ちません。闇バイトはSNSで広く仲間を募集しており、中には「使い捨て」として年少者を強盗の実行役などに巻き込む手口もみられます。さらに、一度闇バイトに関わってしまうと、犯罪グループに住所などの個人情報を持られてしまい、「お前がしたことを家族や警察にバラす」などと脅されて永遠に犯罪に巻き込まれ続けることになります。そのような危険性からお子さんを守るためにも、家庭でSNSの利用方法について話し合い、また、保護者の方の目が届きにくい場合には、アプリの利用状況を把握できたり、利用時間を制限することが可能なフィルタリングサービスの使用も検討しましょう。

☎ 会津坂下警察署警務係 ☎ 0242 (83) 3451

町からのお知らせ

ご寄附ありがとうございました

ふるさと納税(12月分)

五十嵐 竹 男 様 (会津若松市)	飯 塚 孝 様 (郡 山 市)
柴 田 克 哉 様 (茨 城 県)	佐 藤 保 様 (埼 玉 県)
伊 藤 俊 郎 様 (神 奈 川 県)	飯 田 美 果 様 (千 葉 県)
黒 木 弘 美 様 (神 奈 川 県)	二 瓶 優 子 様 (会津若松市)
佐 藤 有 加 利 様 (埼 玉 県)	久 野 高 治 様 (愛 知 県)
佐 野 一 美 様 (新 潟 県)	森 和 代 様 (兵 庫 県)
大 橋 由 里 様 (東 京 都)	小 西 雅 弘 様 (大 阪 府)
酒 井 修 様 (宮 城 県)	南 部 華 織 様 (東 京 都)
梅 木 皓 太 様 (千 葉 県)	長 門 好 江 様 (広 島 県)
兵 働 知 也 様 (京 都 府)	廣 瀬 和 奏 様 (埼 玉 県)
山 内 雄 輔 様 (東 京 都)	五十嵐 武 雄 様 (埼 玉 県)

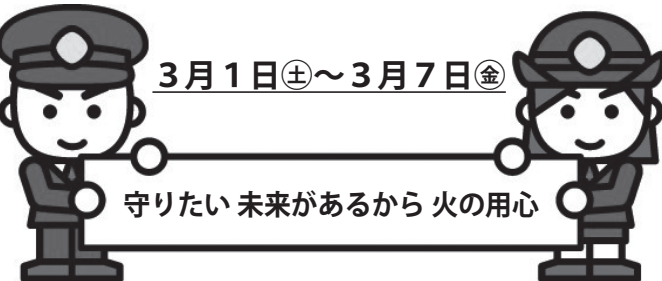
寄附件数 158 件 計 2,133,000 円

消防署からのお知らせ

令和7年 春季全国火災予防運動

3月1日(土)～3月7日(金)

守りたい未来があるから火の用心



 あなたの家は大丈夫ですか

● 家庭にひそむ火災の原因
☑ にチェック☑を入れて、家族で話し合ってみましょう。

- ☑ ストープをチェック
☑ ストープをカーテンや家具などに近づけない。
☑ 洗濯物をストープの上で干したり、近くで乾かさない。
☑ スプレー缶など高温になると危険なものを近くに置かない。
☑ 石油ストーブに灯油を入れるときは、火を消してからする。
- ☑ コンセントをチェック
☑ たこ足配線は絶対にしない。
☑ 隠れているコンセントやプラグもホコリがたまるよう掃除する。
☑ 電気コードは束ねたまま使わない。
☑ 電気コードをソファや机の脚で踏みつかない。
- ☑ たばこをチェック
☑ 寝たばこ、くわえたばこは絶対にしない。
☑ 燃えやすい物のそばでたばこを吸わない。
☑ 灰皿に吸い殻をためない。
☑ 灰皿に水を入れておく。
- ☑ こんろをチェック
☑ こんろのそばを離れるときは必ず火を消す。
☑ 火がら油が熱くなりすぎないように注意する。
☑ こんろの上にフキンなどを干さない。
☑ グリルの中にたまった油はその都度掃除する。
- ☑ 放火をチェック
☑ ごみは収集日の決められた時間帯に出す。
☑ 建物の周りにダンボールや新聞紙などを置きっぱなしにしない。
☑ 車やバイクのカバーは燃えにくい防災品にする。
☑ 車庫や物置にカギをかける。

家族全員で確認し合って
火災に気を付けて生活しましょう！

☎ 会津坂下消防署 三島出張所
☎ (52) 3032 / FAX (52) 3033



■発行 三島町 ■編集 三島町役場 地域政策課
 〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下 350 ☎0241 (48) 5533
 ■ホムペーじ <http://www.mishima.fukushima.jp>
 ■印刷 三洋印刷株式会社